

後悔しないための不妊治療ステップアップ判断シート

夫婦で確認！ステップアップ判断チェックリスト

【基本状況の確認】

- 女性の年齢が35歳以上である
- 人工授精を3~4回以上行い、妊娠に至っていない
- 治療開始から半年以上経過している

【検査結果の再確認】

- AMH（卵巣予備能）が年齢平均より低いと言われた
- 精液検査の結果が思わしくない（数や運動率）
- 卵管検査で片側が通りにくい等の指摘があった

【心の準備とライフプラン】

- 「いつまでに授かりたいか」の期限を夫婦で共有している
- 体外受精の通院スケジュールについて相談済みである
- 高額療養費制度などの助成・保険制度を理解している

⚠ ※3つ以上チェックが入る場合、あるいは年齢が40歳以上の場合は、早めのステップアップ相談をお勧めします。

※夫婦でこのシートを見ながら、一度ゆっくり話し合ってみてください

【保存版】不妊治療の費用目安（保険適用）

治療費シミュレーション（保険適用・3割負担の目安）

項目	人工授精（AIH）	体外受精（IVF）	備考
手技料	約5,460円	約60,000円～	IVFは採卵・培養等により変動
検査・薬剤費	約5,000円～1.5万円	約30,000円～10万円	使用する薬剂量による
1回あたりの合計	約1万円～3万円	約10万円～25万円	窓口での支払額目安
実際の負担額	左記の通り	約8万円～（上限あり）	高額療養費制度適用の場合

 MaTech's Point

体外受精は高額に見えますが、高額療養費制度を使えば、1ヶ月の自己負担額には所得に応じた上限（一般的な所得で約8万円～）があります。窓口で「限度額適用認定証」を提示すれば、最初から上限額までの支払いで済むことも多いですよ！

「高額療養費制度」についてのより詳しい説明や、各自治体の独自助成金があるかもしれないので確認を！

結びに：納得のいく選択が、あなたの力になります

不妊治療の道のりは、正解が見えず、時に孤独や不安を感じることもあるかと思います。

私は胚培養士として、日々ラボの中で多くの命の始まりを見守っています。だからこそ伝えたいのは、どんな治療法を選んだとしても、それは皆さんが悩み抜き、前を向こうとした「最善の選択」であるということです。

成功率や費用の数字も大切ですが、何より大切なのは、ご夫婦で納得し、心と体の準備を整えて一步を踏み出すことです。

このシートが、お二人のこれからの道のりを照らす小さな道標になれば幸いです。あなたの願いが実を結ぶ日を、心から応援しています。

MaTech 運営者（胚培養士）